明治二十二年~~四~~五月

郡制

114
A2610
2

郡制

第一章　總則

第一條　郡ノ廢置分合及郡界ノ變更ハ法律ヲ以テ之ヲ定ム

前項ノ處分ニ付其財産處分ヲ要スルトキハ内務大臣之ヲ定ム但特ニ法律ノ規定アルモノハ此限ニアラス

郡界ニ當ル市町村ノ境界ヲ變更スルトキハ郡界モ亦自ラ變更スルモノトス

第二條　新ニ郡内ノ町村ヲ郡ノ區域ヨリ分離シテ市ト爲シ若クハ市ヲ變シテ郡内ノ町村ト爲スハ法律ヲ以テ之ヲ定ム

前項ノ處分ニ付其郡市町村ノ財産處分ヲ要スルトキハ第一條第二項ノ例ニ依ル

第三條　郡内ニ住居ヲ占ムル者ハ總テ其郡住民トス

第四條　郡ハ其郡有財産及營造物ノ管理ニ關シ規則ヲ設ケ貳圓以下

ノ罰金ヲ付スルコトヲ得其罰金ハ郡ノ收入トス

規則ハ法律命令ニ抵觸スルコトヲ得ス

規則ハ其郡慣行ノ公告式ニ依リ之ヲ告示ス可シ

第二章　郡會

第五條　郡會ハ郡內町村ニ於テ選擧シタル議員及大地主ニ於テ選擧シタル議員ヲ以テ之ヲ組織ス

第六條　町村ニ於テ選擧スヘキ郡會議員ノ數ハ每町村各一名トス若シ每町村各一名トシ其數二十五名ニ滿サルトキハ增シテ二十五名ニ至ルコトヲ得其增員ノ配當法ハ首トシテ人口ヲ標準トシ郡會ノ議決ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第七條　町村ニ於テ選擧スル議員ハ町村會之ヲ選擧ス

第八條　町村組合ニシテ組合會ヲ設ケ其町村一切ノ事務ヲ共同處分スルモノハ第五條乃至第七條ノ規定ニ關シテハ之ヲ一町村ト同視ス可シ

第九條　大地主ハ町村ニ於テ選擧ス可キ議員定數（第六條）ノ外其定數ノ三分一ヲ選擧スルモノトス若シ端數ヲ生スルトキハ之ヲ棄却スヘシ

選擧ヲ行フコトヲ得可キ大地主ニシテ其員數町村ニ於テ選擧ス可キ議員定數ノ三分一以下ナルトキハ其大地主ハ選擧ニ依ラスシテ郡會議員タルモノトス但定期改選ノ期限內ニ於テハ大地主ノ員數減シテ三分一以下ニ至ルト雖モ解散ノ爲メ改選スル場合ヲ除クノ外ハ本項ヲ適用スルノ限ニアラス

第十條　大地主トハ郡內ニ於テ町村稅ノ賦課ヲ受クル所有地ニシテ地價總計壹萬圓以上ヲ有スル地主ヲ云フ法律ニ從テ設立シ法人ノ資格ヲ有スル會社其他法人モ亦之ニ準ス

第十一條　町村會ノ選擧權ヲ有スル郡內町村ノ公民及大地主中自ラ

選擧ニ加ハルコトヲ得可キ者ハ總テ其郡會ニ被選擧權ヲ有ス

住居ヲ移シタル爲メ町村ノ公民權ヲ失ヒタル者其住居同郡内ニ在リ且ツ他ノ要件ヲ失ハサルトキハ仍ホ郡會議員ノ被選擧權ヲ有ス

左ニ掲クル者ハ選擧ニ係ルト否トヲ問ハス郡會議員タルコトヲ得ス

一　所屬府（東京府ハ警視廳トモ）縣幷其郡ノ官吏

二　其郡役所奉職ノ有給吏員

三　神官僧侶其他諸宗教師

其他官吏ニシテ當選ニ應シ又ハ第九條第二項ノ權利ヲ行ハントスルトキハ所屬長官ノ許可ヲ受ク可シ

第十二條　大地主ニシテ選擧權ヲ有スルハ帝國臣民ニシテ公權ヲ有スル者ニ限ル

大地主ノ選擧權ハ身代限處分中又ハ租稅滯納處分中又ハ公權ノ剝

奪若クハ停止ヲ附加ス可キ重輕罪ノ爲メ裁判上ノ訊問若クハ勾留中ハ之ヲ停止ス

本條ノ規定ハ選擧ニ依ラスシテ郡會議員タル者ニモ適用ス

第十三條　選擧權ヲ有スル大地主ハ代人ヲ以テ選擧ヲ行フコトヲ得

其陸海軍ノ現役ニ服スル者、婦人、年齡滿二十五歲未滿ノ者、治産ノ禁ヲ受ケタル者及會社其他法人ハ代人ヲ以テスルニアラサレハ選擧ヲ行フコトヲ得ス

代人ハ内國人ニシテ公權ヲ有シ町村制ニ定メタル獨立ノ男子ニ限ル但一人ニシテ數人ノ代理ヲ爲スコトヲ得ス且代人ハ委任狀ヲ以テ代理ノ證トス可シ

本條ノ規定ハ第九條第二項ノ權利ヲ行フ場合ニモ適用スルモノトス但其代人ハ郡會ニ被選擧權ヲ有スル者ニシテ郡會議員タラサル者ニ限ル

第十四條　郡會議員ハ名譽職トス

町村ニ於テ選擧シタル議員ノ任期ハ六年トシ毎三年其半數ヲ改選ス若シ其員數二分シ難キトキハ初回ニ於テ多數ノ一半ヲ解任セシム初回ニ於テ解任ス可キ者ハ郡會議長郡會ニ於テ自ラ抽籤シテ之ヲ定ム

大地主ニ於テ選擧シタル議員ノ任期ハ三年トシ毎三年其全數ヲ改選ス

解任ノ議員ハ再選セラルヽコトヲ得

第十五條　議員中闕員アルトキハ六ケ月以內ニ補闕選擧ヲ行フ可シ

若シ郡會開會ノ時期ニ切迫シ又ハ開會中ニ在ルトキハ可成改選議員ヲシテ其會議ノ時日ニ及ハシムルコトヲ力ム可シ

補闕議員ハ其前任者ノ殘任期間在職スルモノトス

第十六條　郡長ハ每定期改選前又ハ解散後ノ改選前選擧權アル大地主ノ名簿ヲ製シ其資格ヲ記載シ其人名ヲ告示ス可シ

關係者ニ於テ大地主名簿ノ正否ニ關シ異議アルトキハ告示後二十一日以內ニ郡長ニ申立テ其郡長ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣知事ニ訴願シ其府縣知事ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

大地主名簿ニ登錄セラレサル者ハ選擧ニ參與シ及第九條第二項ニ依リ郡會議員タルコトヲ得ス

大地主名簿ハ次ノ定期改選前ニ行フ可キ補闕選擧ニモ亦適用スルモノトス但大地主ノ資格ヲ失ヒ又ハ第十二條ニ揭クル選擧權ノ要件ヲ失ヒタル者ハ之ヲ削除スヘシ

定期改選ノ期限內新ニ選擧權ヲ得又ハ選擧ニ依ラスシテ郡會議員タルノ權利ヲ得タル者ハ解散ノ爲メ改選スル場合ヲ除クノ外期限

內ニ於テ其名簿ニ登錄セサルモノトス

第十七條　郡會議員ノ選擧ハ郡長ノ告示ニ依リ之ヲ行フ可シ其告示ハ遲クモ選擧ヨリ七日前ニ之ヲ發ス可シ

第十八條　選擧ノ順序ハ先ツ町村會ニ於テ之ヲ行ヒ次ニ大地主ニ於テ之ヲ行フ可シ

町村會ニ於テ郡會議員ヲ選擧スルトキハ町村制中町村吏員選擧ノ規定ニ從フ可シ

大地主ニ於テ行フ選擧ハ郡役所所在ノ町村ニ會合シ郡長ヲ選擧會長トシテ之ヲ行フ可シ

第十九條　大地主ニ於テ選擧ヲ行フトキハ左ノ規定ニ依ル可シ

第一　郡長ハ遲クモ選擧ヨリ七日前選擧人ニ招集狀ヲ發シ選擧ノ場所日時ヲ告知ス可シ

第二　選擧掛ハ選擧會長ニ於テ臨時ニ選擧人中ヨリ選任シタル立會人二名若クハ四名及選擧會長ヲ以テ之ヲ組織ス立會人ハ名譽職トス

第三　選擧會長ハ選擧會ヲ開閉シ其會場ノ取締ニ任ス

選擧開會中ハ選擧人ノ外何人タリトモ選擧會場ニ入ルコトヲ得ス選擧人ハ選擧會場ニ於テ協議又ハ勸誘ヲ爲スコトヲ得ス

第四　選擧ハ被選擧人一名毎ニ逐次之ヲ行フ

第五　投票ハ選擧人自ラ折封ノ上選擧會長ノ立ツ面前ニ於テ之ヲ投票函ニ投ス選擧開會中ニ來着スル選擧人ハ其未タ投票ノ終ラサル選擧ニ加ハルコトヲ得

第六　左ノ投票ハ之ヲ無効トス

一　一人ヨリ多キ人名ヲ記載スルモノ

二　人名ヲ記載セス又ハ記載セル人名ノ讀ミ難キモノ

三　被選擧人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ

四　被選擧權ナキ人名ヲ記載スルモノ
五　被選擧人氏名ノ外他事ヲ記入スルモノ
投票ノ受理並効力ニ關スル事項ハ選擧掛假ニ之ヲ議決ス可否同數ナルトキハ選擧會長之ヲ決ス

第七　有効投票ノ過半數ヲ得ル者ヲ以テ當選トス若シ過半數ヲ得ル者ナキトキハ最多數ヲ得ル者二名ヲ取リ之ニ就テ更ニ投票セシム若シ最多數ヲ得ル者ニシテ同數者數名アルトキハ選擧會長自ラ抽籤シテ其投票ニ付ス可キ者ヲ定メ更ニ投票セシム再投票ニ於テモ猶過半數ヲ得ル者ナキトキハ選擧會長自ラ抽籤シテ其當選ヲ定ム

第八　選擧掛ハ選擧錄ヲ製シテ選擧ノ顚末ヲ記錄シ選擧ヲ終リタル後之ヲ朗讀シテ署名ス可シ
投票ハ之ヲ選擧錄ニ附屬シ選擧ノ効力確定スル迄之ヲ保存ス可

シ

第二十條　選擧ヲ終リ當選人ノ定マリタルトキハ町村會ニ於テ行フ選擧ニ在テハ町村長、大地主ニ於テ行フ選擧ニ在テハ選擧會長直ニ當選者ニ其當選ノ旨ヲ告知ス可シ其當選ヲ辭セントスル者ハ七日以內ニ之ヲ郡長ニ申立ツ可シ
一人ニシテ數ケ所ノ選擧ニ當リタルトキハ何レノ選擧ニ應ス可キコト及選擧ニ依ラスシテ郡會議員タル可キ大地主ニシテ前項町村會ノ選擧ニ當選シタルトキハ其選擧ニ應スルヤ否ヲ同期限內ニ郡長ニ申立ツ可シ其期限內ニ之ヲ申立テサル者ハ總テ其選擧ヲ辭スル者ト視做ス可シ
前項ノ選擧ニ應スル大地主ハ第九條第二項ノ權利ヲ有スル者ト雖此二重ニ其權ヲ行フコトヲ得サルモノトス

第二十一條　選擧人選擧ノ効力ニ關シテ訴願セントスルトキハ選擧

ノ日ヨリ十四日以内ニ之ヲ府縣知事ニ申立ツルコトヲ得

第二十二條　當選人其當選ノ際資格ノ要件ヲ有セサリシコト發覺スルトキハ其當選ハ無効トス但此場合ニ於テ就職前發覺シタルトキハ次點者ヲ以テ當選トシ就職後發覺シタルトキハ更ニ選擧ヲ行フ可シ

當選人當選後資格ノ要件ヲ失フトキハ議員タルノ資格ヲ失フモノトス此場合ニ於テハ補闕選擧ヲ行フ可シ

第二十三條　郡會ニ於テ其議員中議員ノ資格ヲ有セサル者アルコトヲ發見スルトキハ其議決ヲ以テ之ヲ府縣知事ニ通知スルコトヲ得

此場合ニ於テ知事ハ三日以内ニ相當ノ處分ヲ爲スヘシ但特ニ調査ヲ要スル事情アルトキハ其調査ニ必要ナル時日ハ之ヲ除クコトヲ得

第二十四條　前條ノ通知ヲ受ケ知事ニ於テ之ヲ無資格ト爲シタルト

キハ其無資格トセラレ之ニ不服アル議員ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得此場合ニ於テハ無資格トセラレタル日ヨリ二日以内ニ其出訴ノ趣ヲ府縣知事ニ通知ス可シ

本條ノ出訴ノ爲メニ知事ノ處分ノ執行ヲ停止セス但判決確定スルニ非サレハ更ニ選擧ヲ爲スコトヲ得ス

第二十五條　第二十一條乃至第二十四條ノ外選擧ニ關シ必要ナル規則ハ別ニ之ヲ定ム

第二十六條　郡會ハ法律命令ノ範圍内ニ於テ此法律ニ準據シテ郡ノ公共事務ニ關スル事項其他法律命令ニ依リ其權限内ニ屬スル事項ヲ議決スルモノトス

郡ノ公共事務トナスモノ左ノ如シ

一　郡有ノ土地其他ノ財産ノ管理ニ關スル事項

二　郡會議諸費ニ關スル事項

三　郡ノ費用ヲ以テ支辨スル衛生教育勸業又ハ慈善ノ事業及營造物ニ關スル事項

四　郡ノ費用ヲ以テ支辨スル道路河川港灣橋梁若クハ家屋等ノ土木工事ニ關スル事項

五　郡界其他諸種ノ建標ノ類ニ關スル事項

第二十七條　郡會ノ議決ス可キ事件ノ概目左ノ如シ

一　新ニ第四條ノ規則ヲ設ケ並改正廢止スル事

二　郡ノ歳入出豫算ヲ定ムル事

三　決算報告ヲ認定スル事

四　郡有不動産ノ賣買交換讓渡讓受幷質入書入ヲ爲ス事

五　郡長又ハ郡參事會ニ委任シタルモノヲ除クノ外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ棄却ヲ爲ス事

六　郡有ノ財產及營造物ノ管理方法ヲ定ムル事

第二十八條　郡會ハ官廳ノ諮問アルトキハ意見ヲ陳述ス可シ

郡會ハ其全郡又ハ一部分ノ公益ニ關スル事件ニ付府縣知事ニ建議スルコトヲ得

第二十九條　郡會議員ハ選擧人ノ指示若クハ委囑ヲ受ク可カラサルモノトス

第三十條　郡會ハ毎定期改選後又ハ解散後ノ初會ニ於テ議長一名ヲ互選ス可シ其任期ハ議員ノ任期ニ從フ

議長故障アルトキハ假議長ヲ互選スヘシ

第一項及第二項ノ選擧ヲ爲スニ付テハ出席議員中ノ年長者ヲ以テ議長ト爲ス可シ若シ年齢ニ依リ難キトキハ其同年者ヲシテ抽籤セシム可シ

第三十一條　郡長若クハ特ニ郡長ノ委任ヲ受タル郡吏員ハ郡會會議ニ列席シテ議事ニ參與スルコトヲ得但議決ニ加ハルコトヲ得ス

前項ノ列席者ニ於テ發言ヲ求ムルトキハ議長ハ發言請求ノ順序ニ拘ハラス何時ニテモ之ヲ許ス可キモノトス

第一項ノ委任ヲ受タル吏員ハ郡會ノ承諾ヲ經タル場合又ハ請求ニ依リタル場合ヲ除クノ外ハ一議案ニ付キ二名ヲ超ユルコトヲ得ス

第三十二條　郡會ハ毎年一回通常會ヲ開ク可シ其他必要アルトキハ其事件ニ限リ臨時會ヲ開クコトヲ得

郡會ハ郡長之ヲ招集ス若シ議員三分一以上ニ於テ臨時ノ招集ヲ請求スルトキハ必ラス之ヲ招集ス可シ議員ニ招集狀ヲ發シ並會議ノ事件ヲ告知スルハ會議ノ十四日前タル可シ但急施ヲ要スル場合ニ限リ三日前ニ於テスルコトヲ得

郡會會期ハ郡長之ヲ開閉ス

第三十三條　郡會ハ議員半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開キ議決ヲナスコトヲ得ス但同一ノ議事ニ付開會再回ニ至ルモ議員猶其半數ニ滿タサルトキハ此限リニアラス

第三十四條　郡會ノ議決ハ可否ノ多數ニ依リ之ヲ定ム可否同數ナルトキハ議長ノ可否スル所ニ依ル

第三十五條　議員ハ自己及其父母兄弟若クハ妻子ノ一身上ニ關スル事件ニ付テハ會議ノ承諾ヲ經ルニアラサレハ郡會ノ議事ニ參與シ及議決ニ加ハルコトヲ得ス

第三十六條　郡會ニ於テ選擧ヲ行フトキハ第十九條第四ヨリ第七ニ至ル規定ニ依ル可シ

第三十七條　郡會ハ議員ノ互選ヲ以テ五名以下ノ決算報告審査委員ヲ置クコトヲ得

前項ノ審査委員ハ審査ノ爲メ必要ナル諸帳簿及證書類其他會計ノ現況ヲ檢閲スルコトヲ得

第三十八條　郡會ノ會議ハ公開ス但左ノ場合ハ此限ニアラス

一　議長又ハ議員五名以上ノ發議ニ由リ傍聽禁止ヲ可決シタルトキ

二　郡長ヨリ傍聽禁止ノ要求ヲ受ケタルトキ

前項議長又ハ議員ノ發議ハ討論ヲ用ヰスシテ其可否ヲ決ス可シ

第三十九條　議員ハ皇室ニ對シ不敬ノ言語論說ヲ爲スコトヲ得ス

第四十條　議員ハ他人ニ對シ無禮ノ語ヲ用ヰ及人身上ノ誹議ニ涉ル言論ヲ爲スコトヲ得ス

第四十一條　議長ハ議事ノ順序ヲ定メ會議及選擧ノ事ヲ總理シ其日ノ會議ヲ開閉シ幷延會シ議場ノ秩序ヲ保持ス

議事日程ハ郡長ヨリ提出ノ議案ヲ先ニスヘシ但他ノ議事緊急ノ場合又ハ議事ノ都合ニヨリ他ノ議事ニ涉ルノ餘暇アル場合ニ於テハ此限ニアラス

第四十二條　會議中此法律若クハ議事規則ニ違ヒ其他議場ノ秩序ヲ紊ル議員アルトキハ議長ハ之ヲ警戒シ又ハ制止シ又ハ發言ヲ取消サシム命ニ從ハサルトキハ議長ハ當日ノ會議ヲ終ルマテ發言ヲ禁止シ又ハ議場ノ外ニ退去セシム可シ若シ强暴ニ涉ル者アルトキハ警察官ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

議場騷擾ニシテ整理シ難キトキハ議長ハ當日ノ會議ヲ中止シ又ハ之ヲ閉ツルコトヲ得

第四十三條　會議中傍聽席ニ於テ公然贊成又ハ擯斥ヲ表シ又ハ喧騷ニ涉リ其他議事ノ妨害ヲ爲ス者アルトキハ議長ハ之ヲ制止シ若シ命ニ從ハサルトキハ之ヲ退場セシメ必要ナル場合ニ於テハ警察官ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

傍聽席騷擾ニシテ整理シ難キトキハ議長ハ總テノ傍聽人ヲ退場セシムルコトヲ得

第四十四條　郡長若クハ特ニ其委任ヲ受タル吏員及議員ハ議場ノ秩

序ヲ紊リ及議場ノ妨害ヲ爲ス者アルトキハ議長ノ注意ヲ喚起スルコトヲ得

第四十五條　郡會ニ書記ヲ置キ議長ニ隷屬シテ庶務ヲ掌理セシム其人員ハ二名以下トシ郡長ノ選任ヲ以テ郡吏員ヲシテ之ヲ兼シム

第四十六條　郡會ハ書記ヲシテ議事錄ヲ製シテ其議決及選擧ノ顚末幷出席議員ノ氏名ヲ記錄セシムヘシ議事錄ハ議長及議員二名以上之ニ署名スヘシ其議員ハ會議ノ前郡會ニ於テ豫メ之ヲ定メ議事錄中ニ其氏名ヲ記載シ置ク可シ

第四十七條　郡會ハ議事細則及傍聽人取締規則ヲ設ケ府縣知事ノ認可ヲ受テ之ヲ施行ス可シ

第三章　郡參事會、吏員及委員

第四十八條　郡ニ郡參事會ヲ置キ四名以上六名以下ノ名譽職參事會員ヲ以テ之ヲ組織ス其人員ハ郡會ノ議決スル所ニ依ル

第四十九條　參事會ハ郡長ヲ以テ議長ト爲ス議長故障アルトキハ會員ニ於テ假議長ヲ互選スヘシ

第五十條　名譽職參事會員ハ郡會ニ於テ其議員中ヨリ之ヲ互選ス郡會ハ名譽職參事會員ノ補充員三名以下ヲ互選シ闕員アルトキ順次投票ノ多數ヲ以テ之ヲ補充スルコトヲ得

第五十一條　名譽職參事會員ノ任期ハ議員ノ任期ニ從フ但任期滿限ノ後ト雖モ後任者就職ノ日迄在職スルモノトス
名譽職參事會員ノ補闕選擧ハ次回ノ郡會ニ於テ之ヲ行フモノトス但定數三分ノ一以上ノ闕員ヲ生シタル場合ニ於テハ二ケ月以內ニ臨時其選擧ヲ行フ可シ

第五十二條　郡參事會ノ擔任スル事務ノ概目左ノ如シ
一　郡會ノ權限內ニ屬スル事項ニシテ其委任ヲ受タルモノヲ處理スル事

二　郡有財産又ハ營造物ノ管理ニ關シ必要ナル議決ヲナス事

三　臨時必要アルトキ郡ノ出納ヲ檢査スル事

四　郡ノ費用ヲ以テ支辨スル工事ニ付其次第順序ヲ定メ其他必要ナル議決ヲナス事

五　總テ郡ノ公共事務ニ關シ意見ヲ述フル事

六　郡長其他官廳ノ諮問アルトキ其意見ヲ述フル事

七　其他總テ法律命令ニ依テ委任セラルヽ事務ヲ處理スル事

第五十三條　郡參事會ハ郡長之ヲ招集ス若シ會員半數以上ノ請求アルトキハ必ス之ヲ招集ス可シ

第五十四條　郡參事會ハ議長及名譽職參事會員半數以上出席スルトキハ會議ヲ開キ議決ヲ爲スコトヲ得但第十九條ニ依リ假議長ヲ互選スル場合ニ於テハ假議長ノ外仍ホ名譽職參事會員半數以上ノ出席ヲ要ス

郡參事會ノ議決ハ可否ノ多數ニ依リ之ヲ定ム可否同數ナルトキハ議長ノ可否スル所ニ依ル

議決ノ事件ハ之ヲ議事錄ニ登記シ議長及名譽職參事會員二名以上之ニ署名ス可シ

第五十五條　郡參事會員ハ自己及其父母兄弟若クハ妻子ノ一身上ニ關スル事件ニ付郡參事會ノ議事ニ參與シ及議決ニ加ハルコトヲ得ス

前項ノ規定ノ爲メ出席ノ參事會員減少シテ前條第一項ノ數ヲ得サルトキハ郡長ハ臨時ニ郡會議員中該事件ニ關係ナキ者ヲ指名シ名譽職參事會員ノ不足ヲ補充シテ第四十八條ノ定數ニ滿タシムヘシ但補充員ヲ置タル場合ニ於テハ補充員ヲ以テ先ツ之ニ充ツ可シ

第五十六條　市制町村制ノ規定ニ依リ郡參事會ノ職權ニ屬スル事件ニシテ二郡以上ノ市町村ニ交渉スルモノアルトキハ府縣參事會之

ヲ決定スヘシ

第五十七條　郡長ハ法律命令ノ規定ニ從ヒ郡一切ノ事務ヲ指揮監督シ郡會ノ議決ヲ施行シ及郡參事會ノ議決ニ準據シテ郡有ノ財産及營造物ヲ管理シ幷郡ノ費用ヲ以テ支辨スル工事ヲ執行ス

郡長ハ外部ニ對シテ郡ヲ代表シ郡ノ名ヲ以テ往復シ若クハ公布スル總テノ文書ニ署名捺印ス但郡ニ於テ他人ニ對シ義務ヲ負擔ス可キ證書及委任狀ニハ郡長ノ外參事會員二名以上之ニ署名捺印ス可シ

前項ノ文書中郡會又ハ參事會ノ職權ニ屬スル事項ニシテ其議決ヲ經タルモノハ總テ其旨ヲ記入スヘシ

第五十八條　急施ヲ要スル場合ニ於テ郡參事會ヲ招集スルノ暇ナキトキハ郡長ハ郡參事會ノ職權ニ屬スル事項ヲ專決處分スルコトヲ得此場合ニ於テハ次回ノ會議ニ於テ其處分ヲ報告ス可シ

第五十九條　郡ハ府縣稅ヲ以テ支辨スル郡吏員ノ外郡會ノ議決ニ依リ郡ノ費用ヲ以テ郡有ノ財産又ハ營造物ノ管理若クハ土木工事ニ必要ナル有給郡吏員ヲ置クコトヲ得但其任免監督ハ總テ他ノ郡吏員ニ準シ府縣知事之ヲ掌ル

郡吏員ノ給料手當退隱料及任期ノ類ハ郡會ノ議決スル所ニ依ル其身元保證金ヲ要スルトキ其金額ヲ定ムルモ亦同シ

第六十條　郡ハ郡會ノ議決ニ依リ臨時又ハ常設ノ委員ヲ置クコトヲ得其選擧又ハ選任ノ方法ハ郡會ノ議決スル所ニ依ル數人ヲ以テ委員ヲ組織スル場合ニ於テ委員長ノ選擧又ハ選任ノ方法亦同シ

委員ハ名譽職トス

第六十一條　委員ハ知事ノ監督ヲ受ケ郡長ニ隷屬シテ郡公共事務ノ一部ヲ管理シ又ハ一時ノ委託ヲ以テ事務ヲ處辨スルモノトス

第四章　郡ノ經濟

第六十二條　郡內總町村ノ共有ニ屬スル財産及營造物ハ此法律施行ノ日ヨリ郡ノ所有ニ歸シ其權利及義務トモ同時ニ郡ニ移ルモノトス

第六十三條　郡有財産及營造物管理ノ費用郡會郡參事會及委員ノ事務費第五十九條ニ係ル郡吏員ノ給料退隱料其他諸給與及將來法律勅令ニ依リ郡ノ負擔ト定ムル事件幷ニ郡ノ公共事務ニ關スル一切ノ費用ハ總テ其郡ノ負擔トス

第六十四條　郡ノ名譽職參事會員及委員ハ旅費滯在日當若クハ月手當ヲ給スルコトヲ得

郡會議員ハ旅費及滯在日當ニ限リ之ヲ給スルコトヲ得

郡ニ於テ給與スル旅費滯在日當又ハ手當ノ金額ハ郡會ノ議決ニ依リ府縣參事會ノ認可ヲ受ケ之ヲ定ムヘシ

第六十五條　郡ノ支出ニ充ツル費用ハ郡有財産ヨリ生スル收入其他雜收入ヲ除クノ外ハ之ヲ郡內各町村ニ分賦ス

各町村分賦ノ割合ハ各町村前年度ノ直接國稅府縣稅ノ徵收額ニ準據ス

各町村分賦ノ額ハ各町村ニ於テ之ヲ町村ノ豫算ニ編入シ町村稅トシテ徵收シ其總額ヲ郡金庫ニ納ム可シ

第六十六條　町村ニ於テ郡費ノ分賦ニ關シ訴願セントスルトキハ其分賦額告知ノ日ヨリ二十一日以內ニ之ヲ郡參事會ニ申立ツルコトヲ得其郡參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣知事ニ訴願シ府縣知事ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

本條ノ訴願及訴訟ノ爲メニ其執行ヲ停止スルコトヲ得ス

第六十七條　郡ハ天災時變等已ムヲ得サル支出若クハ其郡ノ永久ノ利益ト爲ル可キ支出ヲ要スルニ方リ通常ノ歲入ヲ增加スルトキハ郡內町村ノ負擔ニ堪ヘサルノ場合ニ限リ公債ヲ起スコトヲ得

郡會ニ於テ公債ヲ起スノ議決ヲ爲ストキハ併セテ募債ノ方法、利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定ム可シ

郡公債償還ノ初期ハ三年以内ト爲シ年々ノ償還歩合ヲ定メ募債ノ時ヨリ五十年以内ニ還了ス可シ

歳入出豫算内ノ支出ヲ爲スカ爲メ必要ナル一時ノ借入金ニシテ其年度内ノ收入ヲ以テ償還ス可キモノハ本條ノ例ニ依ルノ限ニ在ラス但郡會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス

第六十八條　郡長ハ毎年其翌年度ニ係ル歳入出豫算表ヲ調製ス可シ

但郡ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ同シ

豫算表ハ郡會ノ議決ニ付スルノ前郡參事會ノ審査ニ付ス可シ若シ郡長ト郡參事會ト意見ヲ異ニスルトキハ郡長ハ參事會ノ意見ヲ豫算表ニ添ヘ郡會ニ提出ス可シ追加又ハ臨時ノ豫算ニ付テモ亦同シ

内務大臣ハ省令ヲ以テ豫算表調製ノ式ヲ定メ幷費目流用ニ關スル規定ヲ設クルコトヲ得

第六十九條　豫算表ハ年度前通常郡會ノ議決ヲ取リ之ヲ府縣知事ニ報告シ幷郡慣行ノ公告式ニ依リ其要領ヲ告示ス可シ

郡ノ費用ヲ以テ支辨スル事業ニシテ數年ヲ期シ施行スルモノ又ハ數年ヲ期シテ其費用ヲ支出スヘキモノハ郡會ノ議決ヲ以テ其年期間各年度ノ經費ヲ定メ連年支辨トシテ之ヲ施行スルコトヲ得

豫算表ヲ郡會ニ提出スルトキハ郡長ハ併セテ其郡ノ事務報告書及財産明細表ヲ提出ス可シ

郡會ニ於テ追加又ハ臨時ノ豫算ヲ議決シタル場合ニ於テモ第一項ニ依リ之ヲ報告シ幷其要領ヲ告示スヘシ

第七十條　歳入出豫算中豫備費ヲ置ク可シ豫備費ハ郡長ニ於テ郡參事會ノ同意ヲ得テ豫算外ノ支出又ハ豫算超過ノ支出ニシテ臨時已

ムヲ得サルモノニ充ツルコトヲ得ルモノトス但郡會ノ否決シタル費途ニ充ツルコトヲ得ス

第七十一條　郡ハ郡會ノ議決ニ依リ郡ノ費用ヲ以テ支辨スル有給ノ收入役一名及付屬ノ郡吏員ヲ置クコトヲ得收入役ハ郡參事會ノ同意ヲ得テ府縣知事之ヲ選任ス其他ハ總テ第五十九條ニ依ル

郡收入役ハ郡ノ收入ヲ受領シ其費用ノ支拂ヲ爲シ其他會計事務ヲ掌ル

郡ニ收入役ヲ置カサルトキハ收入役ノ擔任事務ハ郡役所會計吏ニ於テ之ヲ管理ス可シ但其出納及帳簿ハ之ヲ官金ト分別ス可シ

第七十二條　歲入出豫算表ニ依テ定マリタル收入支出ハ郡長ニ於テ收支命令ヲ發シ豫備費ノ支出其他總テ臨時ノ收支命令ハ郡長ニ於テ郡參事會ノ同意ヲ得テ之ヲ發ス可シ

第七十三條　收入役又ハ其事務ヲ管理スル郡役所會計吏ハ前條ニ準據シタル命令アルニ非サレハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス及其命令アルモ支出ノ豫算ナキカ又ハ豫備費支出及費目流用ノ規定ニ依ラサルトキハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス

前項ノ規定ニ背キタル支拂ハ總テ收入役又ハ其事務ヲ管理スル郡役所會計吏ノ責任ニ歸ス

第七十四條　郡ノ出納ハ每月例日ヲ定メテ檢查シ及每年少クトモ一回臨時檢查ヲ爲ス可シ檢查ハ郡長又ハ其代理者之ヲ爲シ臨時檢查ニハ郡參事會員ノ立會ヲ要ス

第七十五條　決算ハ收入役又ハ其事務ヲ管理スル郡役所會計吏ニ於テ會計年度後四ヶ月以內ニ之ヲ郡長ニ提出シ郡長ハ之ヲ郡參事會ノ審查ニ付シ且自己及參事會ノ意見ヲ附シテ次回ノ通常郡會ノ認定ニ付ス可シ

決算報告書幷ニ之ニ關スル郡會ノ議決ハ郡長ヨリ之ヲ府縣知事ニ

報告ス可シ

第五章　郡行政ノ監督

第七十六條　郡ノ行政ハ第一次ニ於テ府縣知事之ヲ監督シ第二次ニ於テ内務大臣之ヲ監督ス但法律ニ指定シタル場合ニ於テ府縣參事會ノ參與スルハ別段ナリトス

第七十七條　此法律中別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外郡ノ行政ニ關スル府縣知事及參事會ノ處分若クハ裁決ニ不服アル者ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

郡ノ行政ニ關スル訴願ハ其事件ノ處分若クハ裁決ヲ受タル日ヨリ二十一日以内ニ其理由ヲ具シテ之ヲ提出ス可シ但此法律中別ニ期限ヲ定ムルモノハ此限ニ在ラス

此法律ニ指定スル場合ニ於テ府縣知事若クハ府縣參事會ノ裁決ニ不服アリテ行政裁判所ニ出訴セントスル者ハ裁決ヲ受タル日ヨリ二十一日以内ニ出訴ス可シ

行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得可キ場合ニ於テハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得ス

訴願及訴訟ヲ提出スルトキハ處分又ハ裁決ノ執行ヲ停止ス但此法律中別ニ規定アルモノ又ハ當該官廳ニ於テ其停止ノ爲メニ公益ニ害アリト認ムルトキハ此限ニ在ラス

第七十八條　監督官廳ハ郡行政ノ法律命令ニ背戾セサルヤ其事務錯亂澁滯セサルヤ否ヲ監視ス可シ監督官廳ハ之カ爲メニ行政事務ニ關シテ報告ヲ爲サシメ豫算及決算等ノ書類帳簿ヲ徵シ並實地ニ就テ事務ノ現況ヲ視察シ出納ヲ檢閲スルノ權ヲ有ス

第七十九條　郡會又ハ郡參事會ノ議決其權限ヲ越エ法律命令ニ背キ又ハ公益ヲ害スト認ムルトキハ郡長ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ議決ノ執行ヲ停止シ之ヲ再議セシ

メ猶其議決ヲ更メサルトキハ直ニ府縣知事ノ裁決ヲ請フ可シ其權限ヲ越エ又ハ法律命令ニ背クニ依テ議決ノ執行ヲ停止シタル場合ニ於テ府縣知事ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第八十條　郡會ニ於テ議長ヲ選擧セサルトキハ次回ノ會期ニ至ルマテ郡長ニ於テ其郡ノ歳入出豫算及徵收方法ヲ定メ府縣知事ノ認可ヲ得テ之ヲ施行スルコトヲ得

郡會ニ於テ參事會員ヲ選擧セサルトキハ次回ノ會期ニ至ルマテ郡長ニ於テ郡參事會ノ職權ニ屬スル事項ヲ專決處分スルコトヲ得

第八十一條　郡會ニ於テ法律命令ニ依テ郡ノ負擔ニ屬シ又ハ當該官廳ノ職權ニ依テ定ムル所ノ支出ニシテ行政上必要ノ費用ヲ議決セス又ハ議決スト雖モ其當ヲ得サルトキハ郡長ハ府縣知事ヲ經由シ內務大臣ニ具狀シ其指揮ヲ請フコトヲ得

公衆ノ安寧ノ爲メ猶豫ス可ラサル堤防費及公衆ノ交通ノ爲メ猶豫ス可ラサル道路修繕費又ハ橋梁修繕若クハ架換費其他猶豫ノ爲メ公衆ノ危嶮ヲ生スヘキ事業ノ費用ニシテ郡ノ費用ヲ以テ支辨スヘキモノハ前項ノ例ニ依ルコトヲ得

第八十二條　郡會又ハ郡參事會ニ於テ其議決ス可キ議案ヲ議決セサル場合ニ於テ其事緊急ニシテ次回ノ會期ヲ待ツコト能ハサルモノアルトキハ郡長ハ府縣知事ヲ經由シテ內務大臣ニ具狀シ其指揮ヲ請フコトヲ得但其議決セサル議案歳入出豫算ニ係ルトキハ內務大臣ハ其前年度ノ豫算總額以內ノ額ヲ以テ指揮ス可シ

本條ニ於テ議決セスト稱スルハ緊急ノ處分ヲ要スル事件ニシテ之ヲ否決スレハ直チニ行政ノ支障ヲ生スヘキ場合ニ於テ故意ニ之ヲ否決シタルモノヲモ包含ス

第八十三條　府縣知事ハ郡ノ歳入出豫算ノ支出費目中郡ニ於テ負擔

スヘカラスト認ムルモノアルトキハ之ヲ削除シ及其郡ノ資力ニ比シ不急ノ支出ト認ムル費目アルトキハ之ヲ削除若クハ削減スルコトヲ得此場合ニ於テハ收入科目中ニ就キ之ニ相當スル收入額ヲ減殺ス可シ

第八十四條　郡會ハ内務大臣之ヲ解散セシムルコトヲ得此場合ニ於テハ三ヶ月以内ニ議員ヲ改選ス可シ

前項改選ノ場合ニ於テハ名譽職參事會員モ亦改選スルモノトス但改選參事會員ノ就職スル迄在職ス可シ

郡委員ハ郡會ノ解散ニ依リ改選スルノ限リニ在ラス但改選郡會ノ議決ヲ以テ之ヲ改選スルコトヲ得

郡會改選結了ニ至ル迄ノ間急施ヲ要スル事件アルトキハ郡參事會郡會ニ代テ之ヲ議決ス可シ

第八十五條　左ノ事件ニ關スル郡會ノ議決ハ内務大臣及大藏大臣ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

一　新ニ郡ノ公債ヲ起シ又ハ其額ヲ増加シ及償還前其募債ノ方法利息ノ定率若クハ償還ノ方法ヲ變更スル事（第六十七條）

二　勅令ヲ以テ定ムル制限ヲ超過シテ郡費ヲ徴收スル事

第八十六條　左ノ事件ニ關スル郡會ノ議決ハ内務大臣ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

一　罰金ヲ付シタル規則ヲ設ケ及改正スル事其廢止スルモノハ報告スルニ止ム

第八十七條　左ノ事件ニ關スル郡會ノ議決ハ府縣參事會ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

一　郡有不動産ノ賣却讓渡幷質入書入ヲ爲ス事

二　第六十九條第二項ニ依リ連年支辨ノ議決ヲ爲シ及其年期内ニ其議決ヲ變更スル事

第八十八條　郡吏員ノ懲戒ハ官吏ノ懲戒ニ準シ府縣知事之ヲ行フ但收入役ノ懲戒ハ府縣參事會ノ同意ヲ以テスルヲ要ス

第六章　附則

第八十九條　府縣參事會及行政裁判所ヲ開設スル迄ノ間此法律ニ依リ府縣參事會ニ屬スル職務ハ府縣知事、行政裁判所ニ屬スル職務ハ內閣ニ於テ之ヲ行フ可シ

島司ヲ置ケル島嶼ニ於テハ別ニ勅令ヲ以テ其制ヲ定ム

第九十條　町村制施行ノ爲メニ定メタル直接稅間接稅ノ類別ハ此法律ノ施行ニ付テモ亦適用スルモノトス

第九十一條　此法律施行ノ後ハ町村制第百二十六條第三ニ定ムル地租附加稅徵收ノ許可ハ地租七分一半(十四分ノ三)ヲ超過スル時ニ至リ要スルモノトス

第九十二條　此法律ハ町村制ヲ施行シタル各府縣ニ施行スルモノトス其施行ノ時期ハ府縣知事ノ具申ニ依リ內務大臣之ヲ定ム

第九十三條　明治十一年七月第十七號布告郡區町村編制法其他此法律ニ抵觸スル成規ハ本制施行ノ地ニ於テ其施行ノ時期ヨリ總テ之ヲ廢止ス

第九十四條　內務大臣ハ此法律實行ノ責ニ任シ之カ爲メ必要ナル命令及訓令ヲ發布ス可シ